

WOWOW

各位

2021年9月16日

株式会社 WOWOW

代表取締役 社長執行役員 田中 晃

(コード番号：4839 東証第一部)

プレスリリース

2021年日本民間放送連盟賞において「劇場の灯を消すな！Bunkamuraシアターコクーン編 松尾スズキプレゼンツ アクリル演劇祭」が優秀を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 田中 晃、以下「WOWOW」）が制作し、放送したオリジナル番組「劇場の灯を消すな！Bunkamuraシアターコクーン編 松尾スズキプレゼンツ アクリル演劇祭」が、日本民間放送連盟賞 番組部門（テレビエンターテインメント番組）で優秀を受賞しました。

日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟（民放連）が1953年に創設した賞です。

■「劇場の灯を消すな！ Bunkamuraシアターコクーン編 松尾スズキプレゼンツ アクリル演劇祭」概要

初回放送

2020年7月5日(日) による9:00 [WOWOWライブ]

再放送

2021年10月31(日) 午後3:30 [WOWOWプライム]

WOWOWオンデマンド

配信中

番組内容

「劇場の灯を消すな！」のプロジェクトの第1弾は、Bunkamuraシアターコクーンとのコラボレーションで、同劇場の芸術監督を務める松尾スズキを総合演出に迎え、同劇場にて収録。

オープニングは、松尾スズキが軽快に踊りながら劇場へ入っていくシーンから始まり、舞台には「マツノボックス」と名付けられたアクリルボックスが用意され、演者は皆その中で歌い・踊り・演じるという、ソーシャルディスタンスを考慮した新しい試みにも挑戦。

第2弾以降との共通企画である井上ひさし「十二人の手紙」の朗読のほか、歌、ダンス、剣劇、芝居、劇場案内、対談などで構成。歌コーナーは、ミュージカル『キレイ』より代表曲4曲、『もっと泣いてよフラッパー』より松たか子による「スウィング・メモリー」。プロジェクト共通企画である朗読劇（井上ひさし「十二人の手紙」より）は、大竹しのぶと中村勘九郎の豪華共演。そのほか、書き下ろしアクリル演劇「ゾンビVSマクベス夫人」、アクリル剣劇、対談、劇場案内コーナーなどをお届け。

<スタッフ・キャスト>

総合演出：松尾スズキ

脚本・演出協力：天久聖一

出演：秋山菜津子、麻生久美子、阿部サダヲ、荒川良々、生田絵梨花、池津祥子、伊勢志摩、大竹しのぶ、神木隆之介、小池徹平、多部未華子、中井美穂、中村勘九郎、根本宗子、松尾スズキ、松たか子、皆川猿時、村杉蟬之介（50音順表記）

ダンス&コーラス：香月彩里、齋藤桐人、笹岡征矢、中根百合香（50音順表記）

殺陣：六本木康弘、今井靖彦、坂本和基

振付：振付稼業air:man

収録技術：WOWOWエンタテインメント

OP・EDディレクター：上田大樹

ディレクター：伏原正康、石井永二

アソシエイトプロデューサー：泉理絵、横山郁美、石井おり絵

プロデューサー：石川彰子（WOWOW）長坂まき子（大人計画）

加藤真規（Bunkamura）森田智子（Bunkamura）

成田智彦（テレビマンユニオン）

<インタビュー記事>

広報マガジン FEATURES!にて、「劇場の灯を消すな！」のプロジェクトの企画・制作の経緯について石川プロデューサーが語っています。ぜひ、こちらをあわせてご覧ください。



プロデューサー：石川彰子

「WOWOWが劇場で『劇場の灯を消すな！』を制作する意義。コロナ禍の中でTVが演劇のためにできること」
<https://corporate.wowow.co.jp/features/producer/3251.html> (2020.07.30掲載)

以上

報道関連・IR関連のお問い合わせ

人事総務局広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp